

徒然なる日記120921～批判すること～

E-book推進協会

批判すること

批判すること

人の批判をするのは本当はとても難しい。愚痴や陰口すら難しいはずだ。でも何げなく言っている。言っているのを黙って聞いているのも批判への同調だから批判だ。

批判するには反論の余地も無いほどに自分がよく知り、できなければいけない。本来はそのはずだが、いつしか自分のことは棚に上げて人の揚げ足を取るようになった。いつからだろうか。暇になったからか。日本人が。

人を、組織を批判する記事を書けば、その抗弁を聞かねばならない。でもそもそもその批判する側は、つまり記者は全能か。いやいや、ミスするし相手の方が一回り二回り年も能力も上だろう。

それでも記者はなんでか批判する。社会正義のため、公序良俗のため。そんなに記者は潔癖か。自己反省がないのではないか。マスゴミと呼ばれ久しい。だが自浄は働かない。働くのは給与が削られ、窮地に追いやられている危機感から。記事を良くしようという発想からではない。

と、気付けば自分が批判している。話を戻せば、批判をしてその後の影響や、では自分はどうか、という問に答えを出せるまでの行程が難しい。

聖人君子たれ。そんな記者はいない。批判じゃなく、明るい話で満たされる世。それを期待したい。そのために今は批判を学ぼう。

2012年9月21日 記す

2012年9月21日